

# グローバル市場を襲う株安と金利上昇の波



シニア・ストラテジスト 石黒英之

## ポイント① 英ポリシーミックスに市場は大混乱

グローバル市場を株安と金利上昇の波が襲っています。9月23日の米欧株式市場で、ダウ工業株30種平均やSTOXX欧州600指数が年初来安値を更新するなど、世界株全体に下落圧力が強まっている状況です（右上図）。債券市場をみても、足元で主要国の10年国債利回りの上昇基調が強まっており、市場では一段の金利上昇への警戒が高まっているといえます（右下図）。

9月23日にグローバル市場が混乱したきっかけとなったのは、英国の大型減税策や債務管理庁が計画する国債発行の規模拡大等を受け、英国の財政悪化懸念から英国債利回りが急騰したことが一因と考えられます。同日の英5年国債利回りの上昇幅は前日比で0.51%、英10年国債利回りは同0.33%と過去最大の上昇を記録しました。

## ポイント② インフレ鈍化データが相場反転のカギに

最近の市場がこうした悪材料に反応しやすいということは、それだけ投資家心理が冷え込んでいることを示唆していると考えられます。ただ、今後の市場を見る上での本質的な問題は、世界景気の後退懸念が強まりつつあるにもかかわらず、「インフレ高止まり→中央銀行の利上げ継続→金利上昇で信用不安に発展」という懸念がくすぶることで。

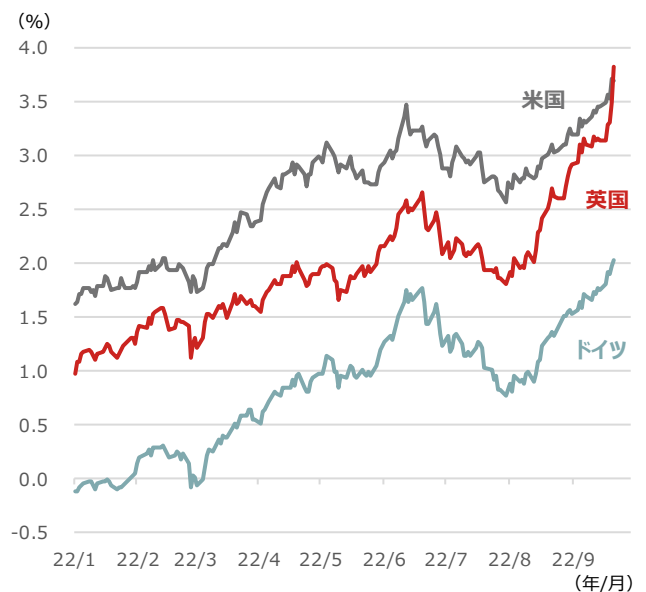
市場が予想する年内の利上げ幅は、FRB（米連邦準備制度理事会）、ECB（欧州中央銀行）が1.25%、イングランド銀行（中央銀行）が1.75%程度となっており、当面は急ピッチな利上げが続く見込みです。市場が落ち着きを取り戻すには、インフレ鈍化などのデータが顕在化し、市場の利上げ予想が和らぐことが焦点とみられ、それまでは不安定な相場展開が続くそうです。

### 米欧主要株価指数と世界株



期間：2021年1月4日～2022年9月23日、日次  
世界株はMSCI All Country World Index（米ドルベース）  
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

### 米独英の10年国債利回り



期間：2022年1月3日～2022年9月23日、日次  
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

\*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。